

第30回学生デザインコンテストの審査に関する件

一般社団法人日本マグネシウム協会
学生デザインコンテスト委員会
委員長 久保田 正広

第30回目となりました学生マグネシウムデザインコンテストの審査結果をご報告させていただきます。今回は、製作部門4件、デザイン部門6件の応募をいただき、審査の結果、下記の作品を入賞に選考しましたので、ここにご報告申し上げます。

第30回学生マグネシウムデザインコンテスト入賞作品

部門	賞	作品名	所属	応募者氏名
製作	第2席	マグネシウム合金製ギターピック	富山大学	木下 慧
	奨励賞	新しい未来へ タケトルくん!!	熊本県立八代工業 高等学校	北森 凜太郎、松永 拳嗣、野田 祥来、 溝貝 愛菜、岩本 圭慎、木村 翼
	努力賞	飛沫防止デスクガード (学校机用)	熊本県立八代工業 高等学校	町田 涼夏、内田 由翔、吉田 向日葵、 村山 将、村山 仁、中原 伊織、廣田 亮翔
	努力賞	マスクボックス	阿南工業 高等専門学校	磯口 颯馬、早見 春哉、太田 朱音、 藤本 莉央、鎌田 郁矢
デザイン	アイデア賞	ドラムフットペダル	富山高等専門学校	麦谷 捺樹
	奨励賞	点滴棒着脱型歩行車	富山高等専門学校	宮本 彪雅

<応募作品数>：制作部門：4件／ デザイン部門：6件 合計 10件

【講評】

■製作部門第2席：マグネシウム合金製ギターピック

書類審査で一番高い評価だった。作品だけ見ると既成品の材料置換であり、難度の高い製造技術であるとは言い難いが、実際に演奏をして他材料との違いを評価し、マグネシウムの長が活かされた材料置換であることがしっかりとPRできており、製品化に近い作品となったことを高く評価し、第2席とした。

■製作部門奨励賞：新しい未来へ タケトルくん!!

マグネシウムの使用がフレームの一部であること、マグネシウム材への加工も難度が高くなかったと思われること、マグネシウムを用いたことによる効果の検証不足という課題が挙げたが、設計から組立・動作までの製作技術と、スマート農業分野というコンセプトを評価し、奨励賞とした。

■製作部門努力賞：飛沫防止デスクガード (学校机用)

コロナ禍ならではの作品ですが、既製品の材料置換であり、非常に軽い仕上がりだったもののデザイン等も含め独創性に欠けるという課題が挙げたが、学校机用という身近な課題への着想と、高校生ながら溶融溶接を用いた製作工程への努力を評価し、努力賞とした。

■製作部門努力賞：マスクボックス

コロナ禍ならではの作品ですが、マグネシウム製の既製品がある中で、マグネシウムを用いたことによる効果の検証・評価が不足していること、設計・デザインへの工夫が課題として挙げたが、自立式・フック付きとしたアイデアと、削り出しによる製作への努力を評価し、努力賞とした。

◆デザイン部門アイデア賞：ドラムフットペダル

デザイン部門の中では書類審査で一番高い評価だった。単純な材料置換でマグネシウムならではのデザインにはなっていなかったことが課題として挙げたが、実際には重量が重要であるものの、演者次第では軽いペダルを好む場合がある製品に着目したこと、楽器市場への使用という着眼点が評価され、アイデア賞とした。

◆デザイン部門奨励賞：点滴棒着脱型歩行車

既製品の材料置換であり、軽量化を含めマグネシウムを用いることによる効果のPRが不足していることが課題として挙げたが、単なる歩行車ではなく医療器具への適用とした点、曲げ加工も含めたデザインを評価し、奨励賞とした。

製作部門は、いずれも既成品の材料置換ではあるが、コロナ禍ならではの作品に、楽器分野、農業分野への展開を意識した作品と、製品選択のコンセプトや設計に関する構想の良い応募作品であった。コロナ禍という特殊な状況の中、また入手できる材料に限りがある中で製作した努力も窺えた。各作品とも、応募資料が良い内容で作成されていることも、書類審査での高評価に繋がった。

デザイン部門は、いずれの作品も材料置換だけの考えで、デザイン部門だからこそその製品の選択や、斬新的な形状及びデザインの工夫といった点で高評価となる作品がなく、その他各賞の入賞に留まった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校への登校自粛、行事・イベント等が中止となる中、学校関係者へのヒアリング等により、第30回学生マグネシウムデザインコンテストは例年とおりに実施しました。大変な状況の中で応募いただいたことも考慮しての審査となりましたが、応募いただいた関係者の皆様、材料提供をいただいた会員企業の皆様、審査に協力いただいた皆様へ、コンテストを中止することなく継続して実施できたことに感謝申し上げます。

以上